

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 7月 1日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 奈良県大和郡山市横田町595番地の1

氏 名 株式会社ハウワ 代表取締役 北森 康史

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0743-57-8000

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ハウワ
事業場の所在地	奈良県大和郡山市横田町595番地の1
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	職別工事業（及び道路貨物運送業）
② 事業の規模	元請け完成工事高 9,200万円
③ 従業員数	71名（うち建設業に携わる者は3名）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	(とび・土工工事業) → べた基礎工事・布基礎工事など 汚泥・・・中間処理業者に委託し、混練固化を行う。 がれき類・・・再生処理業者に委託し、一部を再生砕石として再資源化。 再生不可能なものは中間処理業者に委託し、選別破碎、圧縮を行う。 (解体工事) → 工作物の一部及び全部の解体工事 がれき類・・・再生処理業者に委託し、一部を再生砕石として再資源化。 再生不可能なものは中間処理業者に委託し、選別破碎、圧縮を行う。 建設混合物・・・最終処分業者に委託し、埋立て処分。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

本社事業部



建設部門 (産業廃棄物管理担当部長)



工事現場管理主任 (産業廃棄物管理担当主任)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (令和 5 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	3,068 t	961 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	繊維くず
	排出量	171.2 t	8.608 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	混合物
	排出量	21.245 t	62.4 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	石綿含有産業廃棄物
	排出量	0.226 t	6.85 t
	(これまでに実施した取組)		
がれき類・廃プラスチックのリサイクル促進、梱包用段ボールの削減。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	2,800 t	900 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	繊維くず
	排出量	150 t	7 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	混合物
	排出量	20 t	60 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	石綿含有産業廃棄物
	排出量	0 t	5 t
	(今後実施する予定の取組)		
全ての排出産業廃棄物のリサイクルの推進			

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 原則、各品目ごとにそれぞれ分別し、中間又は最終処理業者へ直送している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 原則、各品目ごとにそれぞれ分別し、中間又は最終処理業者へ直送する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	繊維くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	混合物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	産業廃棄物の種類	金属くず	石綿含有産業廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
建設発生木材を再利用した再生木質ボードを、一般土木構造物のコンクリート用型枠に一部利用している。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	20 t	16 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	繊維くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	8 t	1 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	混合物
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	3.6 t	2.3 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	石綿含有産業廃棄物
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.2 t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
積み替え・保管施設の許可取得を検討している。			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和 5 年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	3,068 t	961 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1,984 t	794 t
	再生利用業者への処理委託量	1,084 t	167 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	繊維くず
	全処理委託量	171.2 t	8.608 t
	優良認定処理業者への処理委託量	136.7 t	4.4 t
	再生利用業者への処理委託量	34.5 t	4.208 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	混合物
	全処理委託量	21.245 t	62.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	7.245 t	50 t
	再生利用業者への処理委託量	14 t	12.4 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	
産業廃棄物の種類	金属くず	石綿含有産業廃棄物	
全処理委託量	0.226 t	6.85 t	

優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	6.85 t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.226 t	0 t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
<p>(これまでに実施した取組)</p> <p>可能な限りリサイクル又は再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減を図った。</p>		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	2,780 t	884 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1,550 t	690 t
	再生利用業者への処理委託量	1,230 t	194 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	繊維くず
	全処理委託量	142 t	6 t
	優良認定処理業者への処理委託量	80 t	2 t
	再生利用業者への処理委託量	62 t	4 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	混合物
	全処理委託量	16.4 t	57.7 t
	優良認定処理業者への処理委託量	10 t	35 t
	再生利用業者への処理委託量	6.4 t	22.7 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	石綿含有産業廃棄物
全処理委託量	0 t	5 t	
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	4 t	
再生利用業者への処理委託量	0 t	1 t	
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	

		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0                    t	0                    t
		<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>優良認定処理業者を選定する。          また、排気ガス抑制のため、車両での移動距離が出来る限り短くなるよ          うな処理業者を選ぶ。</p>		
※事務処理欄				